



2026年2月3日

各 位

会社名 神戸天然物化学株式会社  
代表者名 代表取締役社長 真岡宅哉  
(コード番号 6568 東証グロース)  
問合せ先 経営企画部長 西山卓志  
(TEL. 078-955-9900)

## 株式会社イムノロックの第三者割当増資引受に関するお知らせ

当社は、株式会社イムノロック（本社：神戸市、代表取締役 CEO：白川利朗）が実施する第三者割当増資の一部を引き受けましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 第三者割当増資引受の概要

増資引受時期：2025年12月

第三者割当増資の総額：5,010万円（このうちの一部を当社にて引き受けます）

#### 2. 第三者割当増資引受の経緯

当社は、中期経営計画において、経営課題の一つとして競争力向上のための研究開発力の強化を目的に、研究開発から事業化への更なる加速をテーマとしています。この一環として、産学官連携の国家プロジェクトへの参画や、VCを通じた出資を実施してまいりました。これらの活動を通じて、アカデミア・創薬ベンチャーとのパイプラインの拡充と、社会実装の実現を目指しています。

今回の出資は、株式会社イムノロックが進める経口のがん治療ワクチン（B440）の開発コンセプト、およびその FIH（First in Human）試験において安全性と免疫応答が確認された点を高く評価し、当社の目指す姿と重なることから決定いたしました。また、これまで当社で培った製造技術を有効に利用するなど、製造パートナーとしてのシナジーが発揮できるものと期待しています。

今後も株式会社イムノロックが進める悪性胸膜中皮腫など希少疾患を含む臨床開発の加速に貢献し、一日も早く本剤が患者様に届けられるよう、支援してまいります。

#### 3. 株式会社イムノロックの概要

同社は、ビフィズス菌の特性を利用した新規経口ワクチンプラットフォーム技術を有し、神戸大学発の創薬スタートアップとして2021年に設立されました。現在、経口のがん治療ワクチン（B440）の開発に取り組んでいます。

近年、生体に本来備わるがん免疫を活性化する「がん免疫療法」の開発、実用化が急速に進んでいます。B440は、がん免疫の主役である細胞傷害性T細胞（キラーT細胞）を強力に誘導することが非臨床試験で確認されており、現在までに実験動物を用いた多くの癌種モデルで抗腫瘍効果を確認しています。

また、AMED の創薬支援推進事業・希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業に採択 [ [https://www.amed.go.jp/koubo/11/02/1102C\\_00101.html](https://www.amed.go.jp/koubo/11/02/1102C_00101.html) ]された希少疾病である悪性胸膜中皮腫患者を対象とした医師主導治験（第 I / II a 相臨床試験）を 2025 年 10 月に開始しました。

同社および経口のがん治療ワクチン（B440）の詳細に関しては、同社の web サイト [ <https://immunorock.com/> ] およびプレスリリース [ <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000009.000125161.html> ] をご参照ください。

以上

#### 【用語】

##### 新規経口ワクチンプラットフォーム技術：

従来の経口ワクチンには、抗原タンパクをいかにして腸管免疫系へデリバリーするかという問題点がありました。株式会社イムノロックは、様々な抗原タンパクをビフィズス菌表層に発現させる技術を用いて、革新的な経口ワクチンプラットフォームの開発に成功しました。

##### AMED（国立研究開発法人 日本医療研究開発機構）：

基礎から実用化までの一貫した医療研究開発の推進と、その成果の円滑な実用化を図るとともに、研究開発環境の整備を総合的かつ効果的に行うための様々な取組を行う国立研究開発法人です。

##### 創薬支援推進事業・希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業：

AMED が進行する事業の一つであり、希少疾病用医薬品の製造販売承認取得を目指す研究開発型企业等における FIH（ヒト初回投与）試験実施前及び FIH 試験以降の開発を推進するため、その環境整備の一環として一定の開発費用を補助します。

##### 悪性胸膜中皮腫：

肺を包む胸膜表面をおおっている中皮から発生した腫瘍を中皮腫といいます。悪性胸膜中皮腫はアスベスト（石綿）曝露との関連性が指摘されるまれな腫瘍ではありますが、難治性であり新たな医薬品が望まれている疾患の一つです。